

就職支援プログラムApp

プレ講義

TAC株式会社 執行役員 スクール第二事業部 事業部長

App創設者 上田 和徳



公務員試験における人物試験の重要性

公務員は「二次試験」という位置づけになり、特に地方公務員は筆記試験で点数が伸び悩んだ場合、二次試験(面接)で取り戻すことができます。

もちろん国家公務員でも二次試験で補うことができますが、比率としては一次試験の配点の方が高くなります。二次試験は、面接カード(事前提出、持参)→面接という流れが主で、個人面接・集団面接・グループディスカッションなど「人物を見る」機会が多くあり、人物重視の色が特に濃い試験になります。

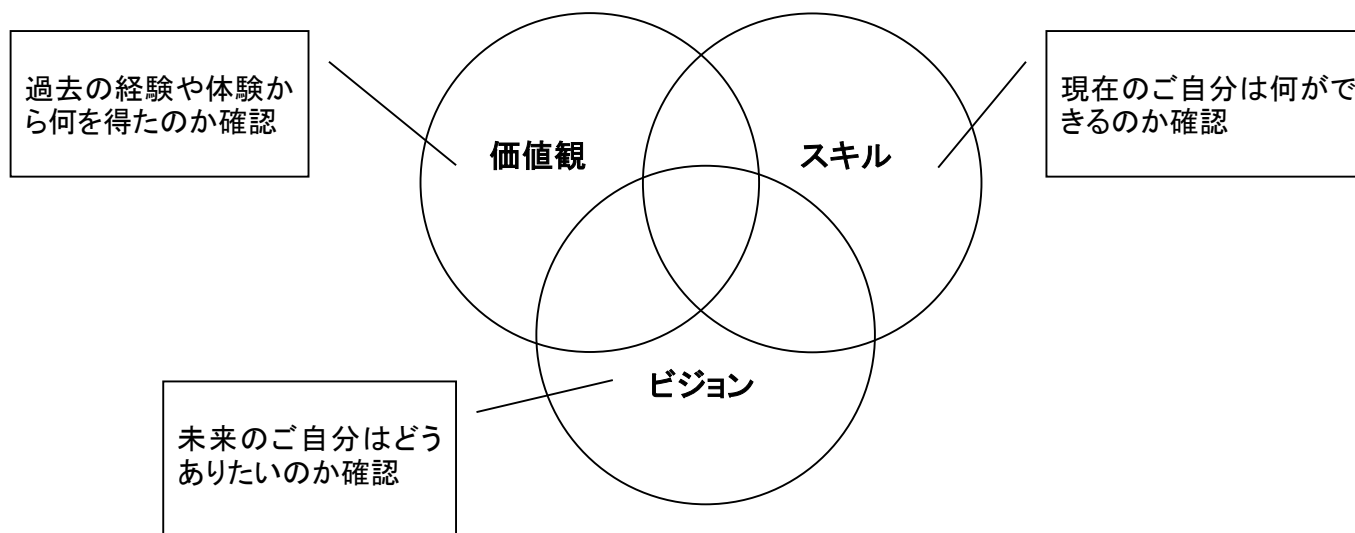
ハードルは高くなりますが、合格後の「安定・福利厚生」は民間の比ではありません。また、公務員はE Sと呼ぶ場合もありますが「面接カード」(例外有り)という「手書き」のもので、文字の丁寧さも重要です。

下手でも丁寧に書けば合否に影響することはありません。記載する内容は官公庁によって様々ですが、志望動機、自己PR、長所・短所などは、必ずと言って良いほど問われます。また、面接時に公務員特有の質問がありますので、後ほど紹介します。

人物試験対策でやるべきこと 自己分析編

自己分析とは？

過去のご自分が現在のご自分を形成し、現在のご自分が未来のご自分を形成します。したがって、自己分析とは過去～現在～未来と、時系列に沿って、ご自分を振り返る・観る・展望するという作業になります。また、第三者からの意見も含め、過不足なくご自分を理解すること、過去のご自分はどうか、欲求・願望・夢を認識します。価値観、スキル、ビジョンの交わる点に何があるのかを発見すると自己分析ができるはずです。



人物試験対策でやるべきこと 面接カード編

面接カードは「志望動機(理由)」は必須項目です。その官公庁を選んだ理由に加え、「公務員を選んだ理由」も問われるところもあります。また、他の必須ともいえる項目としては「趣味・特技」「自己PR」などがあります。どの項目も、しっかりとした内容にしないといけなはもちろんのこと、「言葉使い」も要注意です。

例えば

「である」→「です」

「自分」 →「私(わたし、わたくし)」

「したりして」→「するなど」 などなど。

ちょっとした「言葉遣い」で面接カードの記載時や、実際の面接で、印象が大きく変わってしまいます。

言葉の使い方や言動は直ぐには変わらないので、早めの対策が重要です。

人物試験対策で、ご受講生からよくある質問

①情報収集の仕方

- ホームページ(例えば「観光振興」なら)
画面共有で見てください。
- 歩いて見る(例えば「まちづくり」なら)
(実際に歩いてきた合格者の例)
新神戸という表示(③)があったので、
道に沿って進みましたが、これ以降は
看板がなく、階段を上がり、上の通路
を通ると新神戸駅に着きました(④)。
この階段にはなんの表示もなく、分かり
にくかった。



業務説明会の活用方法

気になる官公庁の業務説明会は積極的に参加しましょう。官庁主催のもので、第一志望先は必須です。都合が合わず、行けない場合は、極々、稀なケースですが、後日、電話をして「個別に見学できませんか？」もありますが、断られたら素直に受け入れましょう。

近畿圏の「官庁公開フェスティバル」が3/1(火)を皮切りに始まりますので、しっかりチェックしておきましょう。

裁判所を受ける方は「傍聴」は数回行った方が良いでしょう。私は民事・刑事、両方行きます。それぞれの違いを感じ取ってきてください。また、見てくるのは「職員」「書記官」などで「裁判官や弁護士」を見て帰ってこないように。

実際の面接でよくある変わった質問

公務員特有なものがありますが、みなさんならどう答えますか？

- 昨夜は良く眠れましたか？
- 今日は何で来ましたか？
- 興味のある時事ネタと解決策は？
- 緊張していますか？
- あなたの苗字の由来は知っていますか？ などなど

学生時代に力を入れたこと (ガクチカ)

頻出項目の「ガクチカ」が出て来ず、進めなくなってしまう方が多いんですが、考え込まずに「頑張ったこと」で良いんです。

例えば

- アルバイト

接客業で、お客様に気持ちよく過ごしてもらうために力を入れたこと。

- サークル

意見の相違から対立が起こり、まとめるために頑張ったこと。

- 部活

弱かった剣道部の成績を上げるために、古くから続いている習慣を廃止した。

このように、エピソード自体は何でも良く、出来れば「複数名」と協働して力を入れて解決や改善できたこと。という内容が良いでしょう。

最も困難なこと、それをどう乗り越えたか

この項目も多く出される項目です。

「最も」と「困難」が合わさることで、ハイレベルなエピソードを考えてしまい出てこないという方が多いです。

例えば（記載時の言葉遣いは、ですます調で）

- 新入生勧誘会で人が集まらず、サークルの存続が難しくなったが、SNSを駆使したことで徐々に口コミが増え目標人数をクリアできた。

- 塾の講師をしていた際、まったく勉強に興味を持たない中学生に、目標とする高校へ進学させるのは困難を極めたが、趣味や、ハマっていることを聴き出し、その話題から始めることで、徐々に心を開いてくれて、共に頑張った結果、進学できた。

この項目もエピソードは何でも良く、ご自身が「難しかったけど、こんなことをして上手くいった。」というレベル大丈夫です。

Appをご受講いただき、内定された合格者の方の体験談

メモ

就職支援プログラムApp

プレ講義

ご清聴ありがとうございました。

